

年 組 名前：

高齢者の免許返納 年々増加 移動手段確保には不安

2019年4月、東京・池袋で車が暴走し、親子が死亡した事故などをきっかけに、高齢ドライバーによる事故対策の重要性が改めて指摘されている。山梨県内では運転免許証を自主返納する65歳以上の高齢者数が増加している。

県警運転免許課によると、20年の免許返納者は2911人。14年に返納した1047人の約2.8倍で推移し

ている。21年も2月末時点で534人が免許を返納した。課は、返納者が増加している要因について「社会的機運の高まりに加え、返納した際に受けられる自治体の支援策などが拡充していることが考えられる」と説明する。

一方、課によると、少子高齢化によって全体の免許保有者に占める高齢者の割合は依然として高い

状況が続く。自家用車がなくなった際の移動手段確保に不安を感じ、返納に踏み切れない高齢者も多くいるのが実情で、課は「特に山間部は利用できる公共交通機関が少ない地域もある。自治体やバス、タクシーの業界団体などへの協力依頼を続けていきたい」としている。

課は「運転中に病気を発症した場合は意識を失うなど運転を継続できず、他人を巻き込み命を奪う重大な事故につながりかねない」と指摘。「体調に異変を感じた場合は運転を控え、不安を感じることがあれば医師などと相談してもらいたい」としている。

(2021年4月5日付 山梨日日新聞8面)

問1

山梨県内で2020年に、運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者数は、2014年に比べ
①人増え、②約倍となりましたか。

①「 人」 ②「約 倍」

問2

運転免許証を自主返納した高齢者が増えている要因は、何ですか。

.....
.....

問3

車を運転できなくなった際の移動手段に不安を感じている高齢者が多いのも実情です。あなたは、
どういう対策が必要だと思いますか。いくつか挙げてください。

.....
.....
.....